

第1445回 通常例会

9月8日(火)「金沢ニューグランドホテル」にて通常例会が開催されました。

会長挨拶では、桑島会長より、「今日は、コロナに関しての最前線レポートをお伝えいたします。一つ目として、私の友人が、人間ドック時にコロナ接触確認



アプリ『COCOA』より感染者と接触の可能性ありとメールが来たそうです。医師にその旨を伝えた瞬間、医師の顔が凍りついたが、その後PCR検査を実施し結果は陰性で安心したという例がありました。二つ目は、私自身の話ですが、先日クラスターが発生中の金沢医療センターに定期診察に行ってきました。院内は臨戦態勢で、診察も救急外来で行い、10分ほどで全てが終了するという経験をしてきました。病院内では医師、看護師とも笑顔で接してくれ、こういう時こそ人を安心させることの大切さを感じました。最近思う事として、コロナウィルスに感染したが無症状の人というのは、何らかの形で抗体を持っている状態と考えられます。世界中がワクチン製造を急いでいる中、これらの自然発生的な抗体がもっと注目されても良いのではないかと思います。最後になりますが、コロナ禍の現状で我々としては、『正しく恐れる事、隠さない事、医療従事者に感謝する事、差別をしない事、笑顔を絶やさない事』、これらの事を気に留めて生活していけば良いのではないのでしょうか。」とご挨拶いただきました。

《各種報告・PR事項》

① 地域環境委員会 (卯辰山清掃報告)

委員長中山恭一 Lより 8月29日(土)に行われた卯辰山清掃について報告がありました。

「今年より眺望の丘も清掃範囲となり、空き缶等のゴミが多々ありましたが、27名の方にご参加ご協力いただき、43袋分のゴミを回収できました。暑さによる健康被害、怪我もなく無事終わることができました。お礼申し上げます。」

② 社会奉仕委員会 (合同献血)

委員長中村隆美 Lより 9月24日(木)開催のガバナー公式訪問例会合同献血についてのお願がありました。

「今回献血目標が40名ですが、9/8現在で2名申込みをいただいております。まだまだ空がございますので遠慮なさらずにご協力お願い致します。社会奉仕委員会の皆様には当日の受付お手伝いをお願い致します。」

③ 金沢東ライオンズクラブアラート基金

CN60周年副実行委員長作田一則 Lより報告がありました。

「記念事業としてアラート基金を作る事は確定しており、規約についても、特段ご意見等はなく、10月28日をもって発効させていただきます。基金の使用については、理事会にて慎重審議の上、有効に使用させていただきます。」

《メンバースピーチ》

高藤暢之 Lに『これからの住宅に求められること』と題してスピーチいただきました。

「福井県出身で大学卒業後積水ハウス(株)に入社しました。弊社は2兆4000億の売上高で住宅戸建賃貸事業、マンション事業、都市開発などを行っていま



す。弊社の住宅は、開発から鉄骨外壁生産、設計、施工まで全て自社で行うところが最大の特徴で、アフターメンテナンスも含め最後まで建物の面倒を見ることが基本スタンスとなっています。これからの住宅に求められることとして、地震時の住宅の損害、二次被害、内外装の破損防止策として「シーカス」という制震装置を開発しました。また、地球環境に優しい暮らしの実現に向けて、住まいのエレルギー消費量がおおむねゼロになる『ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス』の普及や、住宅内での急性疾患発生を検知し救急への出勤要請などを行う安否確認システム『HED-Net』の構築など、弊社として環境対策と住宅内での安全対策を進めていきます。」

ガバナー公式訪問合同例会

9月24日(木)「金沢国際ホテル」にてガバナー公式訪問合同例会が開催されました。

334D地区ガバナー岸省三 Lはじめ地区役員の皆様をお迎えし、本年度の地区の方針を伺いました。

また、来賓として金沢市長山野之義様、石川県赤十字血液センター所長金井雅利様をお迎えし、記念アクティビティとして、金沢市障害児通園施設ひまわり教室に遊具「太鼓橋すべり台」一式、金沢市官民共同事業「卯辰山公園ウォークラリー」共催(2021年5月予定)が金沢市に贈呈され、石川県赤十字血液センターには献血40,000CCが贈呈され、ご来賓兩名から感謝状を拝受致しました。

